

1. 給水原価の算出方法

$$\begin{aligned}
 \text{給水原価} &= \frac{\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}} \\
 &= \frac{2,091,076,692 - (0 + 0 + 0) - 31,710,906}{13,117,948} \\
 &= 156.99\text{円}/\text{m}^3
 \end{aligned}$$

※給水原価とは、有収水量（水道料金の対象となった水量）1m<sup>3</sup>当たり、どれだけの費用がかかっているかを表すものです。（消費税及び地方消費税は含まず。）

2. 従来中原価計算

①会計の費目別による原価計算

(単位：円、%)

会計費目	金額	1m <sup>3</sup> 当たり	構成比
原水費	97,804,370	7.46	4.75
浄水費	310,378,197	23.66	15.07
配水費	146,470,153	11.17	7.11
給水費	262,551,014	20.01	12.75
業務費	129,562,364	9.88	6.29
総係費	297,384,747	22.67	14.44
減価償却費	744,399,443	56.75	36.15
資産減耗費	9,507,168	0.72	0.46
営業外費用	61,308,330	4.67	2.98
<b>計</b>	<b>2,059,365,786</b>	<b>156.99</b>	<b>100.00</b>
受託工事費	0	0.00	0.00
材料等売却原価	0	0.00	0.00
附帯事業費	0	0.00	0.00
<b>合計</b>	<b>2,059,365,786</b>	<b>156.99</b>	<b>100.00</b>

②性質別費用による原価計算

(単位：円、%)

性質別費用	金額	1m <sup>3</sup> 当たり	構成比
職員給与費	388,898,048	29.65	18.88
減価償却費	744,399,443	56.75	36.15
資産減耗費	9,507,168	0.72	0.46
企業債利息	52,810,098	4.03	2.56
動力費	144,104,730	10.99	7.00
光熱費	7,358,212	0.56	0.36
通信運搬費	12,914,483	0.98	0.63
修繕費	12,389,210	0.94	0.60
材料費	244,375	0.02	0.01
薬品費	14,785,431	1.13	0.72
委託料	501,045,636	38.20	24.33
工事請負費	42,406,000	3.23	2.06
負担金	83,350,980	6.35	4.05
その他	45,151,972	3.43	2.19
<b>合計</b>	<b>2,059,365,786</b>	<b>156.99</b>	<b>100.00</b>

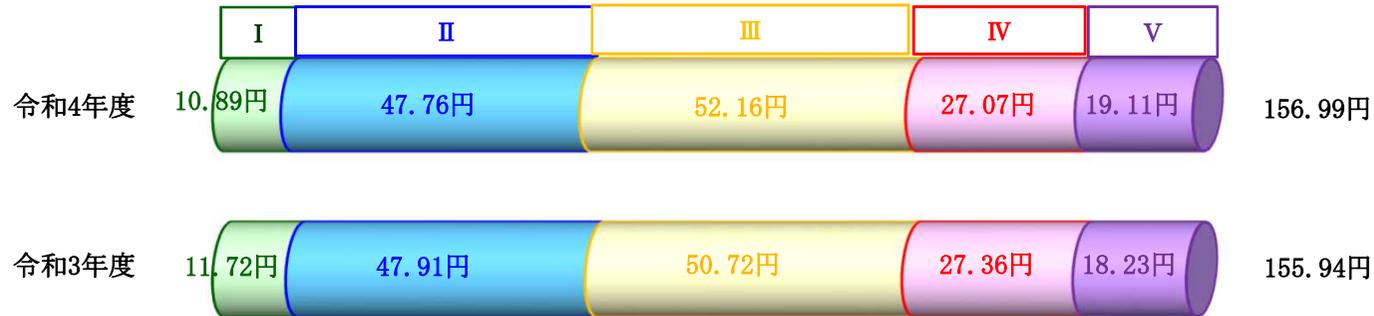
※表中「減価償却費」については、長期前受金戻入分 31,710,906円 を除く。

3. ABC分析による原価計算

(単位：円、%)

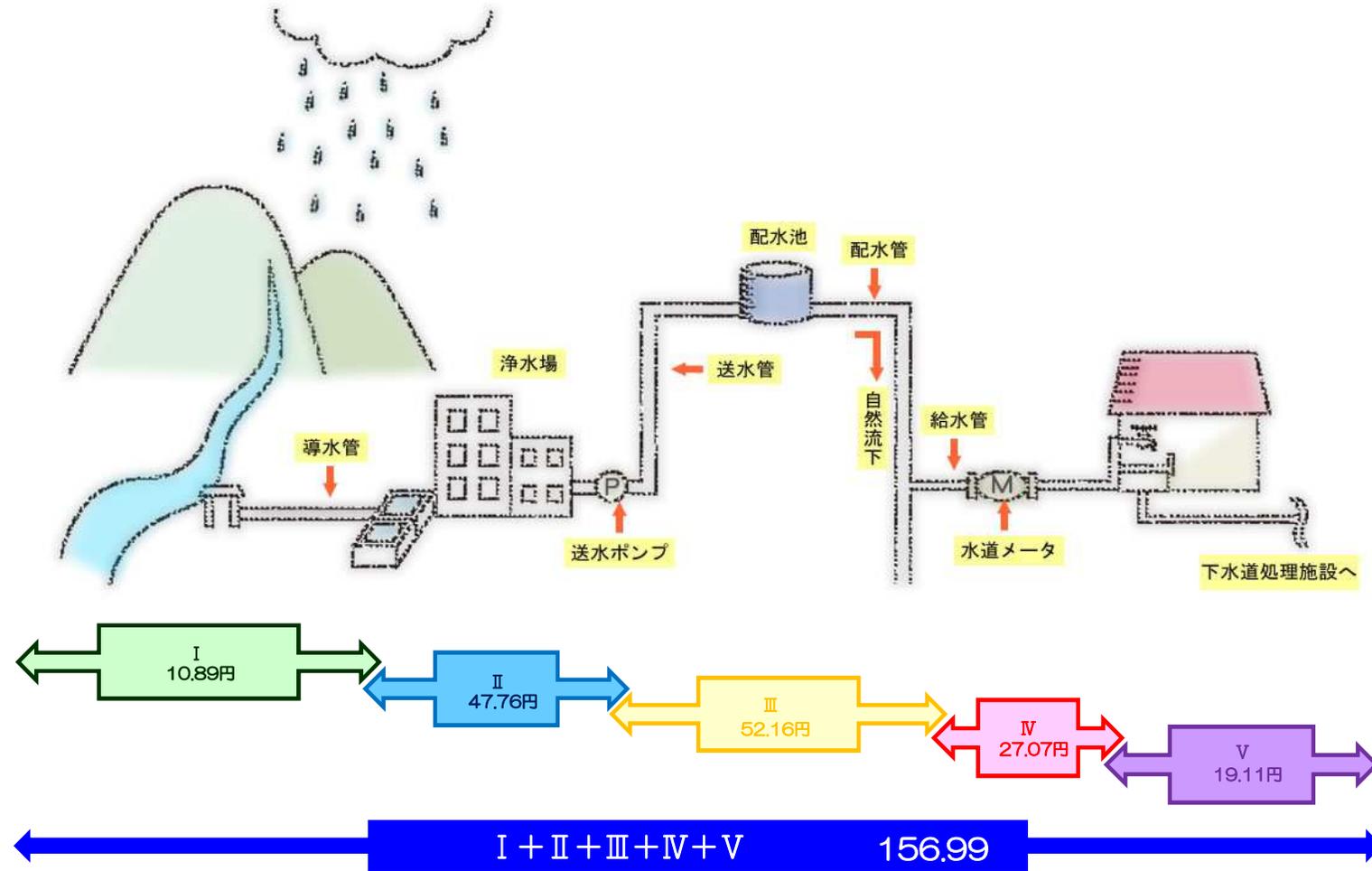
活動コストの分類	金額				合計	1㎡当たり	構成比
	費目別	総係費	減価償却費等	営業外費用			
I 原水を得るための活動	97,804,370	11,437,875	31,925,086	1,699,646	142,866,977	10.89	6.94
II 浄水場で水をきれいにするための活動	310,378,197	45,751,500	258,837,434	11,524,569	626,491,700	47.76	30.42
III 浄水場からお客さまのお宅まで水を届けるための活動	146,470,153	57,189,374	435,947,984	44,684,821	684,292,332	52.16	33.23
IV 水道メータなどの維持管理を行うための活動	262,551,014	80,065,124	10,765,049	1,699,646	355,080,833	27.07	17.24
V 水道メータの検針、料金算定・徴収、窓口サービスなどのための活動	129,562,364	102,940,874	16,431,058	1,699,648	250,633,944	19.11	12.17
合計	946,766,098	297,384,747	753,906,611	61,308,330	2,059,365,786	156.99	100.00

※総係費は事業全般に係る費用のため、各項目に属する職員数に応じて配分し、営業外費用の一部は「I～V」へ均等配分し、端数が生じた場合は「V」にて調整する。



- I 原水を得るための活動
- II 浄水場で水をきれいにするための活動
- III 浄水場からお客さまのお宅まで水を届けるための活動
- IV 水道メータなどの維持管理を行うための活動
- V 水道メータの検針、料金算定・徴収、窓口サービスなどのための活動

4. ABC分析による原価計算（イラスト）



- I 原水を得るための活動
- II 浄水場で水をきれいにするための活動
- III 浄水場からお客さまのお宅まで水を届けるための活動
- IV 水道メータなどの維持管理を行うための活動
- V 水道メータの検針、料金算定・徴収、窓口サービスなどのための活動